

理科研究部 2026年度 夏季合宿(山梨県 大菩薩峠)の報告

高校2年 西殿 大洋 ・ 顧問 荒井 賢一

【概要】

実施日:2026年8月20日～8月21日(1泊2日)

実施場所:山梨県甲州市 大菩薩峠

宿泊地:大菩薩ヒュッテ



【夏季合宿の行程】

夏季合宿を8月20日～8月21日の1泊2日で実施しました。夏季合宿は、天体観察や科学観察・観測をおこなうことや部員間のコミュニケーションを深めることを目的とした高校 理科研究部の恒例行事です。今年度は高校1年生2名・高校2年生5名が参加しました。

1日目は、JR塩山駅から路線バスで30分ほどの大菩薩峠登山口より、一般向けハイキングコースを徒歩で、目的地(宿泊地)の標高約1700mに位置する大菩薩ヒュッテ(山梨県塩山市)を目指して出発しました。大気の状態が不安定の予報でしたが、常に空模様と雨雲レーダーを随時確認しながら、安全第一で行程を進め、歩行中は雨に遭わずに全員が登り切ることができました。



ヒュッテに到着してからすぐ雨が降り出しましたが、しばらくして雨が止み、各々がヒュッテの周りで科学観察・観測の活動を始めました。また、生徒1人と顧問は、沢の水源を目指しました。



沢の水源付近で水を採取



水源近くで水宿泊地近くの姫の湯沢での生物探し



宿泊地近くの姫の湯沢での水質調査

各々が活動を終えヒュッテに戻った後は、一休みしてから、調理を担当するグループと薪ストーブの火起こしをするグループに分かれて活動を行いました。調理のグループでは食品の衛生管理にも十分配慮し、安全に美味しく作ることができました。また、薪ストーブのグループでは見事に火起こしを成功させ、暖をとることができました。



調理グループ



火起こしグループ

夕方から夜にかけて激しい雷雨がありましたが、数時間で雨が止むと一切雲のない満天の星空が広がっていました。ヒュッテの外に出て、普段見ることのできない息を呑むような満天の星に、みんな圧倒されました。



2日目は、ヒュッテから大菩薩峠の頂を目指して登山を開始しました。早朝に起床してすぐの登山でしたが、みんな順調に大菩薩峠の頂に辿り着くことができました。



ヒュッテに戻ってからは朝食の準備をし、食べ終わった後はヒュッテの掃除をし、ヒュッテを後にしました。その後、全員が無事に下山することができ、何人かは温泉で体を癒し、帰路につきました。

【合宿全体を通しての感想】

私は二年連続での参加であったため、去年の経験を踏まえ、より充実した夏季合宿になるよう思案を講じました。例えば、2日目に帰りの準備を始める時間を早めることで悪天候に遭わないようにし、2日目の朝食の準備では衛生面を考慮し肉類ではなく常温保存できる魚肉ソーセージでタンパク質を摂取できるようにしました。そして、複数人で行う必要があった準備や後片付けもみんなが積極的に行ってくれてスムーズに進み、非常に頼もしく感じました。

文化部ということもあり、登山は大変だったとは思いますが、道中ではお互いの趣味や研究内容についての話が飛び交い、大変さよりも楽しさが勝ったのではないかと思います。この合宿を経て、みんなすっかり打ち解けることができ、合宿は大成功だったと思います。この経験を部活でも活かしていきたいです。この素晴らしい合宿が来年以降もまた恒例行事として続くことを心から願っています。